

姉妹都市交流：新潟県妙高市の高校生がスロベン・グラデツ市を訪問しました。

2014年9月7日から13日までの間、新潟県妙高市からの訪問団（高校生8名、妙高市職員3名）がスロベン・グラデツ市を訪問し、両都市の文化紹介やホームステイによる生活体験、ホストファミリーとの交流、スロベン・グラデツ高校での授業参加・ディスカッション等を行い交流を深めました。8日にはスロベン・グラデツ高校主催による歓迎式典が開催され、同校生徒の合唱による歓迎セレモニーに始まり、来賓挨拶にて、城守大使は日本からの訪問団に対し、今回の滞在中に様々な異文化体験を経て、国際的視野・感覚を養って欲しいと激励し、両市の関係者、学校関係者、ホストファミリーの皆様にも本事業への協力・支援に対する謝意を伝えました。

式典後、スロベン・グラデツ市庁舎にてアンドレイ・チャス市長、城守大使、妙高市職員による意見交換会が開催され、経済、文化、社会活動など幅広い分野での更なる市民交流に向けての活発な議論が行われました。

新潟県妙高市とスロベン・グラデツ市との交流は1996年新潟県新井市（当時）の新井リゾートにて、スロベニアの文化を紹介する「スロベニア・ウィーク」が開催されたことを発端に、両都市の市長、市民代表団・高校生による相互訪問や絵画交換などが継続的に実施され、2001年の姉妹都市協定締結を経て、2011年には、10年間の交流を綴った記念誌を出版するなど様々な交流が行われています。

＊妙高市は、2005年4月に新井市、妙高高原町、妙高村の合併により発足。

